



平成 22 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社リンコーコーポレーション
 代 表 者 名 代表取締役社長 坪 井 鈴 兒
 (コード番号 9355 東証第二部)
 お 問 合 せ 先 取締役経理部長 山 下 和 男
 (TEL. 025 - 245 - 4112)

平成 2 3 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 2 2 年 9 月 1 3 日に公表いたしました平成 2 3 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平成 2 2 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 2 年 9 月 3 0 日) の業績予想と、本日公表の平成 2 3 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決算実績に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

(1) 平成 2 3 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 2 2 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 2 年 9 月 3 0 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)
前回発表予想 (A)	10,207	295	253	△169	円 銭 △6.26
今回実績 (B)	10,355	152	106	△431	△15.98
増減額 (B-A)	148	△143	△147	△262	—
増減率 (%)	1.5	△48.5	△58.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	9,438	△55	△53	△391	△14.51

(2) 平成 2 3 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 個 別 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 2 2 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 2 年 9 月 3 0 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)
前回発表予想 (A)	5,597	191	167	△91	円 銭 △3.37
今回実績 (B)	5,725	222	196	△251	△9.31
増減額 (B-A)	128	31	29	△160	—
増減率 (%)	2.3	16.2	17.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	5,156	15	21	△42	△1.58

(3) 差異が生じた理由

平成23年3月期第2四半期累計期間における当社グループの主力事業であります運輸作業部門は、前年同期に比べ取扱数量が増大し、平成22年9月13日の業績予想開示時点に比べ若干の増収、増益となりましたが、連結子会社の貸倒懸念債権をより厳格に見積もった結果、連結における一般管理費が85百万円の増加、更に、特別損失として貸倒引当金繰入額337百万円を計上しました。

上記事由により、第2四半期累計期間連結決算は9月13日開示の業績予想に比べ連結営業利益△143百万円、連結経常利益△147百万円、連結当期純損失△262百万円となりました。

また、個別決算におきましては、連結子会社に対する貸付金を貸倒引当金繰入額（特別損失）として今期第1四半期に比べ166百万円多く計上しました結果、第2四半期累計期間単体決算は9月13日開示の業績予想に比べ個別当期純損失△160百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間で計上しました特別損失は通期の業績に影響を及ぼしますが、当社主力事業であります運輸作業部門は下期も堅調に推移することが見込まれ、更に一層の経費削減等を行うことで通期の黒字を確保できる見込みであります。

上記理由により、現時点において前回（平成22年9月13日）公表の「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」で記載いたしました連結通期業績予想に変更はございません。

以 上